



■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

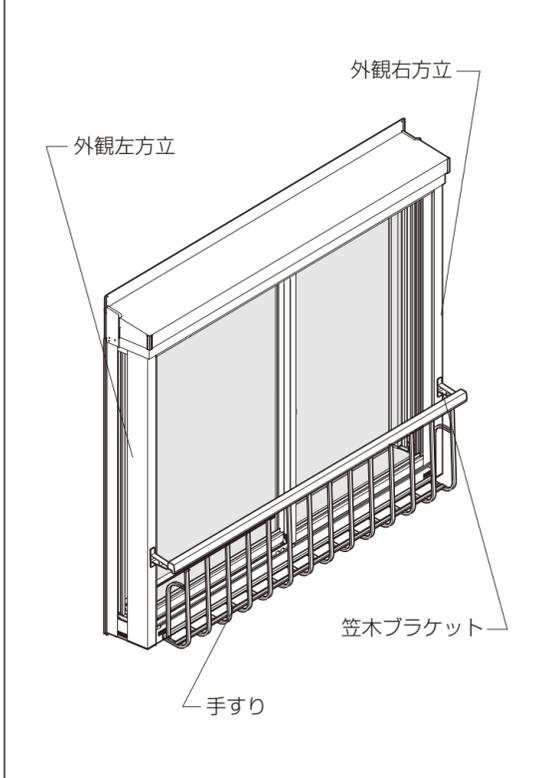
**▲警告** …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

**▲警告**

●手すりの落下・転落防止のため、下記事項を厳守してください。

- ・強度・防錆性を保つため、必ず指定のブラケット・ねじなどを指定の数量お使いください。
- ・手すりにのったり、足をかけたりしないでください。また、重い物をのせないでください。
- ・サイドガードは必ず取付けてください。
- ・手すり取付け後、笠木をゆすってガタツキのないことを確認してください。

■取付け完成図



■取付け部品一覧表

※下表は本文中の記号を示します。間違いのないよう使用してください。

記号	㊦	㊧	㊨	
名称	笠木ブラケット	ブラケット座板	ターンナット	
姿図				
使用箇所	方立	方立	方立・正面下枠	
記号	㊩	㊪	㊫	㊬
名称	ナベ小ねじ M4×16	トラス小ねじ M4×20	ナベ小ねじ M6×16(Wセムス)	トラス小ねじ M4×8(先付)
姿図				
使用箇所	取付け枠 - 正面下枠	ブラケット - 方立	ブラケット - 笠木	サイドガード - 立子棧

■取付け順序

1 サイドガードの取付け

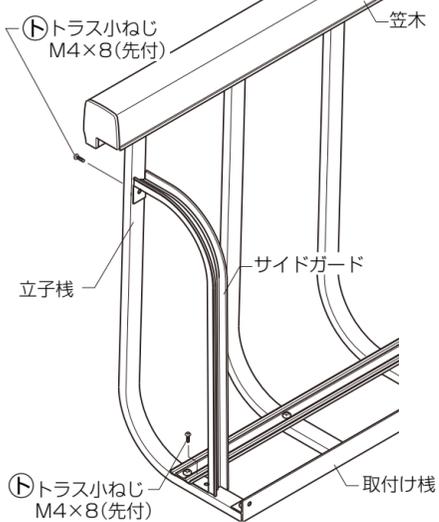
※安全を保つため、必ずサイドガードを手すりの両端に取付けます。

●笠木にテープ止めしてあるサイドガードを図のように取付けます。(図-1)

**▲警告**

●サイドガードは必ず取付けてください。

(図-1)



2 ブラケットの取付け

①方立にブラケット座板取付け位置を決めます。(図-2)

※ブラケット座板は、方立の内側に合わせて張ってください。

②ブラケット座板を圧着し、φ4.5mmのドリルで下穴をあけます。

③ブラケット座板を外しφ4.5mmの下穴を更にφ8.2mmのドリルであけ直します。

※写し穴をあけたあと、ブラケット座板は不要となります。

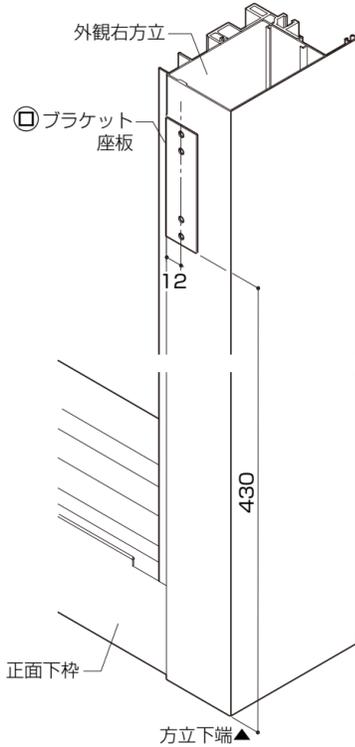
④ターンナットを横向き(図-3)で差込みます。

※ターンナットは必ず横向きにしてください。

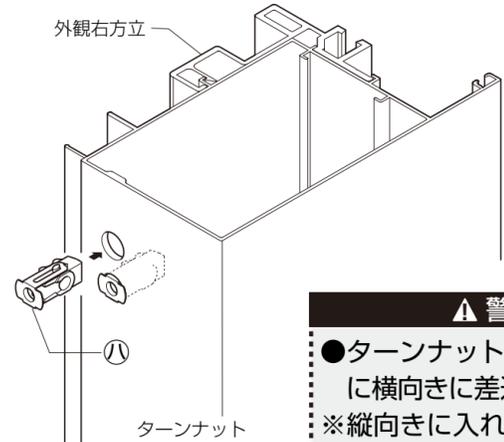
⑤ターンナットに笠木ブラケットを固定します。(図-4)

※固定ねじは最後まで確実に締め付けてください。

■ブラケット座板取付け位置(図-2)



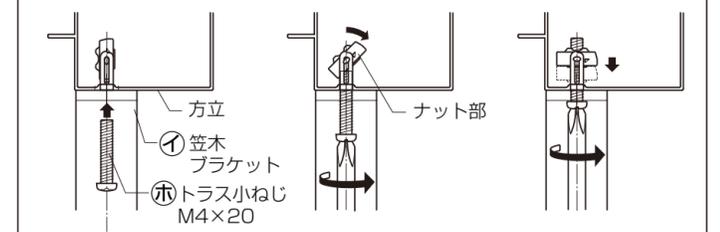
■ターンナットの差込み方(図-3)



**▲警告**

●ターンナットは必ず図のように横向きに差込んでください。  
※縦向きに入れるとねじが締まらなくなります。

※ターンナットはねじをねじ込むと、ナット部が回転します。



3 笠木の取付け

①まず笠木ブラケットに手すり本体を仮固定します。次に手すり取付け枠を正面下枠に当て、取付け枠の穴位置を下枠にケガキます。

②手すり本体をいったん外し、ケガキ位置にφ4.5mmのドリルで下穴をあけます。

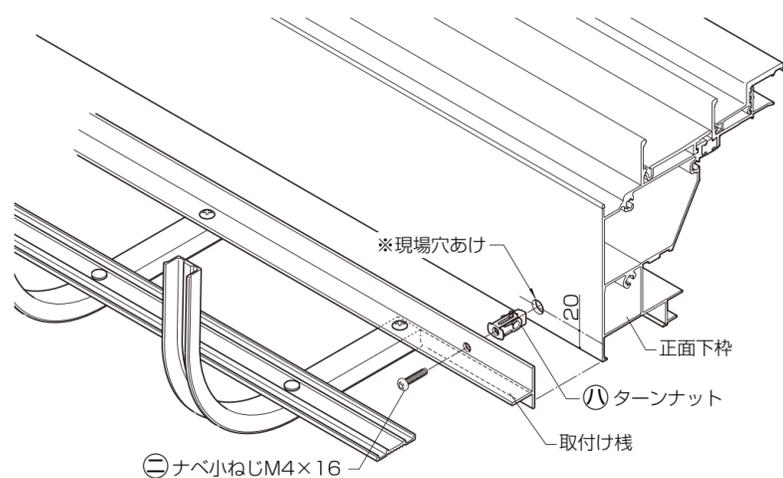
③φ4.5mmの下穴を更にφ8.2mmのドリルであけ直します。

④ターンナットをブラケットの取付けと同じ要領で横向きに差込みます。(図-5)

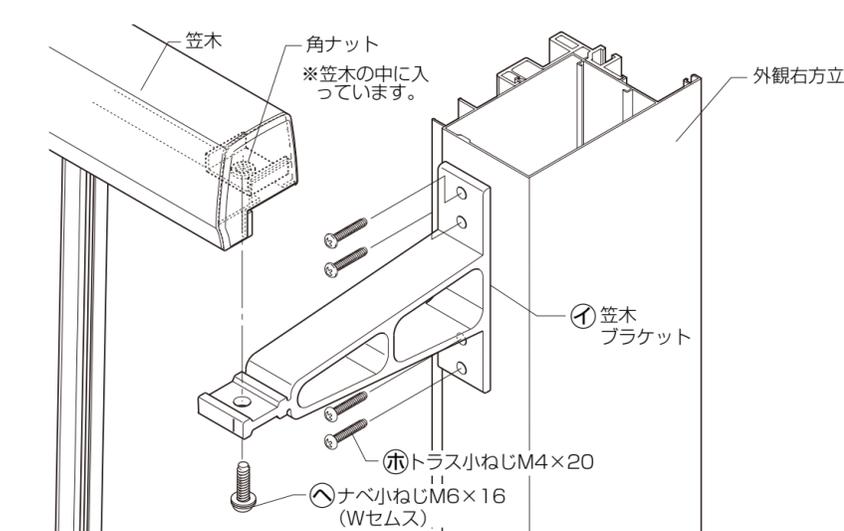
⑤笠木ブラケットに手すり本体を固定します。(図-4)

⑥手すり取付け枠を正面下枠に固定します。(図-5)

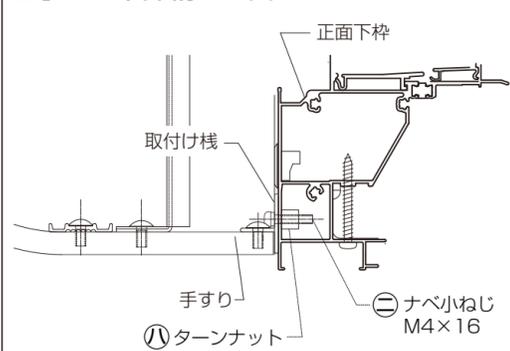
(図-5)



(図-4)



■手すり下部納まり図



**▲警告**

●ターンナットは必ず図のように横向きに差込んでください。  
※縦向きに入れるとねじが締まらなくなります。